

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議 開催報告書

開催日時 令和6年2月21日		風楽里アルコープにて
当日あつまって頂いた委員の皆様		議 題
利用者	2人	1 活動状況報告
利用者家族（風楽里）	1人	
// （笑楽日）	1人	
知見者	1人	2 身体的拘束適正化検討委員会
市職員	1人	
地域包括支援センター	1人	3 笑楽日 風楽里 外部評価
（看護実習生3名担当教師1名参加）		
地域住民の代表者	1人	
事務局	2人	

- 1 利用者様の日常の様子を、活動状況報告書を読みながら報告しました。
事務局・・・年末から年始の行事食や外出、面会等は、平常どおり行われました。
- 2 身体拘束適正化委員会 該当する事例はありませんでした。
事務局・・・日常の介護の中での声掛けの仕方についての意見がありました。
転倒リスクを回避するために、「立ってはダメ」「座っててください」等の不適切な声掛けは、自由を奪う、身体拘束にあたるという考え方をベースにして、日々のケアに当たっている。
委員・・・とっさの動きに、大きな声で、上記の言葉を発してしまうことはありますよね。
制止した。束縛した。ということですか。
事務局・・・とっさの場合は、起こりえると思いますが、常に様子を観察して、危険を感じる前に、そばに行つての声掛けや、要望を伺う等の対応を心掛けています。
委員・・・大声で名前を呼ぶという行為も、聞いた利用者が振り向いて転んだ事例もある。
事務局・・・ご家族様にも、転倒リスクについてのお話は、常にさせて頂いている。職員の負担増から、大声で叫んだり等の、不適切な介護とならぬように、努めている。
- 3 〔笑楽日外部評価〕地域かかわりシート①より
事務局・・・B-1 家族や地域の方が事業所に入りやすい工夫がされているか。
委員・・・駐車場が狭く停めにくい。
事務局・・・同感です。
委員・・・包括センターからは、割と、認知度はあると思う。
建屋の雰囲気が良いという話を聞く。
事務局・・・C-O 地域の行事への参加について。D-日常の外出について。

委員・・・他事業所では、祭りの際、神輿に手を振ったりして交流している。

委員・・・この地区は、このところ子供の数が減り、行事も減っている。

事務局・・・以前はこの地区の、弘法さん参り等の行事に、こちらから出向いて参加していたが、事業所内でのコロナクラスター感染があり、交流も、恐る恐るという感じで精神的にも負担が大きいのが現状。

委員・・・公民館の喫茶の日があるので、行ってみたらどうか。

事務局・・・前は悪天候で中止したので、今回は参加できると良いと思う。

E-2地域の心配事の相談について。職員の家族についての相談は、利用につながったケースもあり、数件受けている。が地域住民からのお話は、包括センターや、民生委員さんの方へ行っていると思う。

委員・・・地域ケア会議への参加をお願いしてもいいですか。

事務局・・・大丈夫です。F-防災について。

委員・・・ハザードマップは、危険地域に入っていますか。

事務局・・・福祉避難所指定を受けており、危険区域でもありません。

停電時の非常用発電機を設置予定です。地域の方も使用できると良いと思います。

[風楽里外部評価]

事務局・・・職員の自己評価に、前回委員さんからの意見をまとめたものを、お渡します。

「Ⅳ、本人暮らしの状況把握について。」入居者さん 9 名の一人ひとりの状況把握です。個人が特定されない形で、職員の意見をまとめてあります。ご参照ください。ご意見ご感想がありましたらお寄せください。

以上 令和5年度 第6回 運営推進会議の報告とさせていただきます。

報告者 伊丹